

科目名		編曲Ⅰ		担当講師		谷津祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	講義・実習
期 間		1期・2期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		メロディとその他の要素との関連について理解し、簡単な編曲ができる力を修得する。					
2期		メロディとその他の要素との関連についての理解を深め、編曲に活用できる力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月18日	授業ガイダンス					
2	4月25日	メロディとその他の音楽を構成する要素について					
3	5月9日	スケールとキー1					
4	5月16日	スケールとキー2					
5	5月23日	音程					
6	5月30日	コード1					
7	6月6日	コード2					
8	6月13日	ダイアトニックコード1					
9	6月20日	ダイアトニックコード2					
10	6月27日	メロディとスケール、コードの関連1					
11	7月4日	メロディとスケール、コードの関連2					
12	8月22日	メロディに対するコード編曲1					
13	8月29日	メロディに対するコード編曲2					
14							
15							
評価方法		B評価 定期試験(筆記試験)の素点および実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		随時授業にてプリント配布					
注意事項		39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		アンサンブル I		担当講師		山良一/川畑統正/中田有紀/岸林大	
講師実務経験		プロミュージシャン					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	29 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		授業を通じてアンサンブルとは何かを理解し修得する。					
2期		グループに分かれてオリジナル曲を作り上げる力を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月18日	授業ガイダンス					
2	4月20日	バンドアンサンブルの基本① / オリジナル曲作成の基本①					
3	4月25日	バンドアンサンブルの基本② / オリジナル曲作成の基本②					
4	4月27日	バンドアンサンブルの基本③ / オリジナル曲作成の基本③					
5	4月26日	バンドアンサンブルの基本④ / オリジナル曲作成の基本④					
6	4月28日	バンドアンサンブルの基本⑤ / オリジナル曲作成の基本⑤					
7	5月10日	バンドアンサンブルの基本⑥ / オリジナル曲作成の基本⑥					
8	5月17日	バンドアンサンブルの基本⑦ / オリジナル曲作成の基本⑦					
9	5月19日	バンドアンサンブルの基本⑧ / オリジナル曲作成の基本⑧					
10	5月24日	バンドアンサンブルの基本⑨ / オリジナル曲作成の基本⑨					
11	5月26日	バンドアンサンブルの基本⑩ / オリジナル曲作成の基本⑩					
12	5月31日	Fブースミニライブ(全員で1曲)					
13	6月2日	グループ分け/オリジナル曲を作るにあたって					
14	6月7日	オリジナル曲作成①と伴奏編成					
15	6月9日	オリジナル曲作成②と伴奏編成					
16	6月14日	オリジナル曲作成③と伴奏編成					
17	6月16日	オリジナル曲作成④と伴奏編成					
18	6月21日	オリジナル曲作成⑤と伴奏編成					
19	6月23日	オリジナル曲作成⑥と伴奏編成					
20	6月28日	オリジナル曲作成⑦と伴奏編成					
21	6月30日	オリジナル曲作成⑧と伴奏編成					
22	7月5日	オリジナル曲作成⑨と伴奏編成					
23	8月18日	オリジナル曲作成⑩と伴奏編成					
24	8月23日	オリジナル曲作成⑪と伴奏編成					
25	8月25日	オリジナル曲作成⑫と伴奏編成					
26	8月30日	オリジナル曲作成⑬と伴奏編成					
27	9月1日	オリジナル曲作成⑭と伴奏編成					
28	9月6日	オリジナル曲演奏					
29	9月8日	前期試験にむけて					
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		87時間中30時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)					

科目名		作曲Ⅰ		担当講師		谷津祐子	
講師実務経験		大学非常勤講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース各専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	13	回	1回あたりの授業時間	135 分
期		修 得 目 標					
1期		曲の構成を分析し、それに沿って簡単なメロディーを作曲できる力を修得する。					
2期		歌詞やコードとメロディーの関連を分析し、簡単なメロディーを作曲できる力を修得する。					
回数	日程						
1	4月19日	授業ガイダンス／既製の楽曲の分析1					
2	4月26日	分析をもとにした模倣					
3	5月10日	既製の楽曲の分析2					
4	5月17日	分析をもとにした模倣					
5	5月24日	既製の楽曲の分析3					
6	5月31日	分析をもとにした模倣					
7	6月7日	既製の楽曲の分析4					
8	6月14日	分析をもとにした模倣					
9	6月21日	コードからの作曲1					
10	6月28日	コードからの作曲2					
11	7月5日	コードからの作曲3					
12	8月23日	課題作成1					
13	8月30日	課題作成2					
14							
15							
評価方法		B評価 定期試験(筆記試験)の素点および実技習得度で評価 平常点±10点(出席率、授業態度、取組状況など)					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		随時授業にてプリント配布					
注意事項		39 時間中 14 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		リズム I		担当講師		神田直樹	
講師実務経験		音楽教室勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
1期		音符や休符の知識を修得する。					
2期		リズムの仕組みを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月19日	拍と小節、4分と8分それぞれの音符と休符を修得する					
2	4月26日	16分音符、休符と構成音(4音構成、3音構成)の修得する					
3	5月10日	16分音符、休符と構成音(2音構成、1音構成)の修得する					
4	5月17日	8分3連符と構成音(3音、2音、1音構成)を修得する					
5	5月24日	8分音符のクリック移動を修得する					
6	5月31日	タイとスラー、シンコペーションを修得する					
7	6月7日	リズムを構成する音の要素を修得する					
8	6月14日	アクセントとバックビートの知識を修得する					
9	6月21日	フィールとビートの知識を修得する					
10	6月28日	実技試験対策					
11	7月5日	実技試験					
12	8月23日	ブレイクとキメの知識を修得する					
13	8月30日	筆記試験対策					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(50%)実技修得度(50%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ヴォーカル実習Ⅰ		担当講師	中田 有紀	
講師実務経験		ヴォーカリスト、ヴォーカルトレーナー				
対象学年	1 学年	対象専攻	ヴォーカル専攻		授業形態	実習
期 間	1期・2期	総授業回数	17 回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標					
1期	人前で声を出すことに慣れる、自分の声を知り修得する。					
2期	ヴォーカルテクニックの強化(2度～3度までのオルタードを含んだメロディー)を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】				
1	4月20日	腹式・胸式呼吸、ブレスコントロール、ハミング				
2	4月27日	曲をそれぞれ持合い、アドバイス。今後の課題を見つける。				
3	5月18日	喉の開け方、ロングトーン、スタッカート、母音の発音				
4	5月25日	地声、ミドルボイスの違いを知り体感する				
5	6月1日	2度ソルフェージュ、メジャースケール、1人ずつの歌唱				
6	6月8日	ミドルボイス、ファルセットの違い、つながりを知り体感する				
7	6月15日	日本語と英語の発音や、アクセントの違い(子音・母音)				
8	6月22日	課題曲を用いて、リエゾンやアクセントを覚える				
9	6月29日	録音などもしながら、声を客観的に聴く、評価しあう				
10	7月1日	課題曲を用いて、2声のハーモニーをつける				
11	7月6日	2度ソルフェージュ(メジャースケール・マイナースケール)				
12	7月8日	2度ソルフェージュ(マイナースケール)・3度ソルフェージュ				
13	8月17日	3度ソルフェージュ(メジャースケール・マイナースケール)				
14	8月19日	開く母音、閉じる母音、無声子音				
15	8月24日	uh～ah～コーラス、字ハモ等				
16	8月26日	3度ソルフェージュ(マイナースケール)				
17	8月31日	ハンドクラップ、足でステップを踏む/ 鏡を見て歌唱しながらハンドクラップ、マイクワークについて				
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%) 平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 評価方法:B				
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト						
注意事項		51時間中18時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名		音楽理論I		担当講師		水口 陽子	
講師実務経験		ピアノ講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習
期 間		1 期・2 期	総授業回数	13 回	1 回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
1 期		楽譜に関する知識と音程、スケールを理解し コードの仕組みを修得する。					
2 期							
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	譜表と音名、音符と休符					
2	4月21日	リズムと拍子、連桁					
3	4月28日	音程とメジャースケール①					
4	5月19日	音程とメジャースケール②					
5	5月26日	マイナースケール①					
6	6月2日	マイナースケール②					
7	6月9日	音程とスケールについてのまとめ					
8	6月16日	近親調					
9	6月23日	五度圏					
10	6月30日	楽譜に用いられる記号や用語					
11	7月7日	コード①					
12	8月18日	コード②					
13	8月25日	コード③ コードの総復習、試験対策					
評価方法		定期試験点数(100%)、平常点±10点（出席率、提出物、授業態度・取組状況など） 評価方法：A					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可					
テキスト							
注意事項		26時間中9時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）					

科目名	キーボード実習				担当講師	水口 陽子		
講師実務経験	ピアノ 講師							
対象学年	1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習	
期 間	1 期・2 期	総授業回数	13	回	1 回あたりの授業時間		90	分
期	修 得 目 標							
1 期	DTMや作曲、編曲をする際にキーボード活用できるよう、鍵盤上でのリズムやコードの理解を目指し、基礎トレーニングを含めコードワークや奏法を習得する。							
2 期								
回数	日程	【授 業 計 画】						
1	4月14日	授業概要及び基本トレーニング方法とスケールの運指について						
2	4月21日	基本トレーニング スケール練習 トライアドの習得						
3	4月28日	基本トレーニング トライアド+6th,7th,M7thの習得						
4	5月19日	基本トレーニング アルペジオ						
5	5月26日	基本トレーニング コード転回						
6	6月2日	基本トレーニング コードワーク（4、8、16beatの弾きわけ）						
7	6月9日	基本トレーニング aug、b5の習得						
8	6月16日	基本トレーニング diminishの習得						
9	6月23日	基本トレーニング コードワーク（スムーズなコードチェンジ）試験曲						
10	6月30日	基本トレーニング 4beatフレーズ（シャッフル記号における）試験曲						
11	7月7日	基本トレーニング グリッサンド奏法 試験曲						
12	8月18日	基本トレーニング パラディロール 試験曲						
13	8月25日	基本トレーニング キーボードアンサンブル仕上げ 実技試験						
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など)							
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)							
テキスト								
注意事項	28時間中10時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません（留年となります）							

科目名		作詞 I		担当講師		吉田佳代	
講師実務経験		シンガーソングライター					
対象学年		1 学年	対象専攻	ミュージシャンコース		授業形態	座学
期 間		1期2期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間		90 分
期		修 得 目 標					
1期		作詞の基礎を修得する。					
2期		構成を考慮し第三者にテーマを表現を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月14日	詩の大切さを理解する。テーマと素材について。					
2	4月21日	1番の構成のバランス					
3	4月28日	2番の構成のバランス					
4	5月19日	タイトルの付け方					
5	5月26日	心情を情景で表現する					
6	6月2日	積み上げ法					
7	6月9日	音数率					
8	6月16日	推敲・言葉の重複について					
9	6月23日	体言止め					
10	6月30日	比喩(直喩)					
11	7月7日	比喩(暗喩)					
12	8月18日	倒置法					
13	8月25日	リフレイン					
14							
15							
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) ※実技習得度評価時期・方法:B					
評価		上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)					
テキスト							
注意事項		26 時間中 9 時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		PA実習(選択)		担当講師		久本 晃三	
講師実務経験		音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1 期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いが出来るようになり修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 5月20日 6月10日	オリエンテーション、ケーブル巻き					
2	4月22日 5月27日 6月17日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い					
3	5月6日 6月3日 6月24日	PAセットを組んで音を出してみる。					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		REC実習(選択授業)		担当講師		金沢 琢司	
講師実務経験		株式会社スタジオバードマン勤務(平成5年～平成13年)					
対象学年		1 学年	対象専攻	1年A・B・C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1 期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		レコーディング業界とレコーディングエンジニアという職業を理解し修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	スタジオの作りを理解し、レコーディングエンジニアの職業を理解する。簡単なラフミックス体験					
2	5月20日 5月27日 6月3日	ブース内(ドラム・ベース・ギター)にマイクをセッティングし録音。録音の作業工程を理解する。					
3	6月10日 6月17日 6月24日	バンド録音(マイクセッティング～録音～ラフミックスまで)完パケを作成。					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法		2/3以上の出席で「修得済」評価					
評価		修得済評価(点数評価は行わない)					
テキスト		各回授業にてプリント配布					
注意事項		全選択9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 照明実習		担当講師		笹出 将太	
講師実務経験		照明音響会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期・2期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種と他の職種との関わりを修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	授業ガイダンス。照明という仕事について、音楽に対してのプランニングについて					
2	5月20日 5月27日 6月3日	仕込み作業について					
3	6月10日 6月17日 6月24日	光の演出効果について					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 テレビ番組制作		担当講師		田端 優一	
講師実務経験		放送局関連会社勤務					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期	総授業回数	9 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		基本的な番組制作の流れとスタッフの役割を理解する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	授業ガイダンス～番組制作の現場について					
2	5月20日 5月27日 6月3日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について					
3	6月10日 6月17日 6月24日	テレビスタジオで番組の収録を行う					
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
評価方法		2/3以上の出席で「修得済」評価					
評価		修得済評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		全選択9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		文書デザイン(選択授業)		担当講師		熊谷めぐみ	
講師実務経験		広告会社勤務・現フリーランスライター					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	演習
期 間		1	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		Wordを中心にPCの初歩的な基本操作を習得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	授業ガイダンス PC操作・Wordの基本的な操作・文書作成					
2	5月20日 5月27日 6月3日	Wordによるビジュアル文書の形式・作成 文書作成を行いながら、文字装飾や段組み、表や図の挿入・編集、ページ罫線を学ぶ					
3	6月10日 6月17日 6月24日	Wordによるビジュアル文書の形式・作成 1、2回で学んだことを生かし、指定した文書を制作する					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		適宜プリント配布					
注意事項		9時間中 4時間の欠席で修得済評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		選択 ヴォーカル実習		担当講師	中田 有紀
講師実務経験		ヴォーカルトレーナー、ヴォーカリスト			
対象学年	1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態
期 間	1 期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
1期	ヴォーカルトレーニングの基本を知り、修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日 4月22日 5月6日	腹式呼吸での発声法、基本姿勢			
2	5月20日 5月27日 6月3日	課題曲レッスン			
3	6月10日 6月17日 6月24日	課題曲レッスン(コーラス、マイクワーク含)			
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価			
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)			
テキスト					
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)			

科目名		選択 ギター実習		担当講師		川畑 統正	
講師実務経験		ギタリスト / ヤマハ認定講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1 期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1 期		ギター演奏の基本技術と知識の修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ					
2	5月20日 5月27日 6月3日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲					
3	6月10日 6月17日 6月24日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト							
注意事項		9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ベース実習(選択)		担当講師		木村 圭子	
講師実務経験		ベーシスト					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		ベースの役割を学び、基礎スキルを修得する					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	BASSという楽器について(基本フォーム・運指トレーニング)					
2	5月20日 5月27日 6月3日	2finger奏法基礎 8feel groove 課題曲					
3	6月10日 6月17日 6月24日	Slap奏法基礎 16feel feel groove 課題曲					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価					
評価		「修得済」評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		9時間中4時間の欠席で「修得済」評価不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		ドラム実習(選択実習)		担当講師		岸林大輔	
講師実務経験		演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師					
対象学年		1 学年	対象専攻	A,B,C組 選択者		授業形態	実習
期 間		1期	総授業回数	3 回	1回あたりの授業時間		135 分
期		修 得 目 標					
1期		Dr.Set、リズムの基本を修得する。					
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日 4月22日 5月6日	Stick Control&Foot リズムスタイル					
2	5月20日 5月27日 6月3日	リズムスタイル#2、Fill-In					
3	6月10日 6月17日 6月24日	リズムスタイル#3、エチュード、まとめ					
評価方法		3分の2以上の出席で「修得済」評価とする。					
評価		修得済評価(点数評価は行わない)					
テキスト		資料配布					
注意事項		全選択9時間中4時間の欠席で定期試験受験不可=進級ができません(留年となります)					

科目名		DTM I			担当講師		水口 陽子			
講師実務経験		ピアノ 講師								
対象学年		1	学年	対象専攻	ミュージシャンコース 各専攻		授業形態	実習		
期 間		1 期 ・ 2 期		総授業回数	13	回	1 回あたりの授業時間		135	分
期		修 得 目 標								
1 期		MIDI入力の方法を学び、奏法、フレージングに応じた打ち込み、エディットを修得する。								
2 期										
回数	日程	【授 業 計 画】								
1	4月15日	授業概要及び機材システムと使用ソフトの理解 新規プロジェクトの作成								
2	4月22日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得① クオンタイズ								
3	5月6日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得② コピー&ペースト								
4	5月20日	ステップ入力、リアルタイム入力を習得③ ベロシティ								
5	5月27日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 スtringス								
6	6月3日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ブラッス								
7	6月10日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ドラム、パーカッション								
8	6月17日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ベース								
9	6月24日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ギター①								
10	7月1日	楽器特有の奏法、フレージングの表現 ギター②								
11	7月8日	前期課題制作①								
12	8月19日	前期課題制作②								
13	8月26日	前期課題制作③								
評価方法		定期試験点数(30%)実技修得度（70%）平常点±10点 （出席率、提出物、授業態度・取組状況など）								
評価		上記総合評価点 S (100-90) A (89-80) B (79-60) C (59-50) D (49以下 不可)								
テキスト										
注意事項		39時間中14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません（留年となります）								